

平成29年度 小竹小学校 学校評価まとめ

*** アンケートによる到達度**

かなりそう思う (4) そう思う (3) そう思わない (2) かなりそう思わない (1) → この平均値を掲載しています。

*** 達成度**

A →到達度が3点以上 B →到達度が2点以上 C →到達度が1点以上 () 内は28年度

	質問事項	達成度	保護者	児童	教職員	保護者・教職員の意見	学校評議員の意見	来年度に向けて
1	学校は楽しい	A	3.2 (3.3)	3.3 (3.4)		○温かい教職員に恵まれ、楽しい生活を送れている。 ○校長が細やかに声をかけている様子をよく見かける。感謝の気持ち。 ●すべての子に当てはまるかどうかは判断しかねる。	○教師の言葉かけを工夫することで、楽しい気持ちがより一層高まる。 ●アンケートの数字にとらわれすぎることなく、引き続き円滑な教育活動を望む。	□「学校が楽しい」と答える児童の割合が2年連続で下がっていることから、教師の児童理解力、授業力の向上が課題である。 体験的な学習を通して驚きや発見、感動のある授業づくりに努める。
2	基礎学力の定着	A	3.0 (3.1)	3.3 (3.4)	3.3 (3.3)	○分かりやすい授業。全体と個への気配り、目配りがあって良い。 ●先生により差があると感じる。 ●授業中騒がしいクラスがある。どの子も学習に集中できる時間の確保を望む。	●個別対応力の差が出ている。 ●経験の少ない先生は、保護者対応が難しいのではないかと。	□1時間ごとのねらいを明確にして授業を展開する。また、学年の段階に応じてどの教科においても「聞く」「話す」の基本をしっかり身に付けさせる。 □OJTによる人材育成を強化する。
3	算数の学力の定着	A		3.3 (3.4)	3.5 (3.0)	○少人数で一人一人に目が行き届いていた。 ●クラス分けの方法を知りたい。	○この地域は小学校、中学校とも学力で都の平均を上回っている。相応の学力はついていると感じる。	□次年度も指導方法改善加配教員や講師の配置を継続し、一人一人の課題に応じた少人数指導を実施する。
4	学習習慣の定着 (家庭学習も含む)	B	2.9 (2.9)	3.4 (3.4)	3.0 (3.0)	○低学年は家庭学習で視写に取り組み、整った字が書けている。 ●言われなくても自分から取り組めるようになると良い。	●中学校進学に備え、特に復習の習慣づけをして欲しい。	□家庭学習の定着にはやや課題がある児童がいるため、家庭との連携を図ると共に、今年度スタートした地域未来塾の活用について検討を加えていく。

5	パソコン等の電子機器の活用	B		3.2 (3.5)	2.9 (2.6)	○若い先生はパソコンやプロジェクターの扱いにも慣れていると感じた。 ●電子機器を各教室に常備したい。	●練馬区はICT環境の整備が遅れている。	□区の整備計画が既に出されているので、計画に従い進めていく。
6	生活習慣の定着	A	3.0 (3.0)	3.4 (3.4)	3.0 (2.8)	○1年生も学校のルールを理解し、よい生活態度が身についている。 ●学年が上がっても文具などは学習にふさわしい物を使用させたい。	○あいさつは良好。大人の側からも声をかけ、地域ぐるみで挨拶を交わせるようにしたい。	□「小竹小ミニマム10のルール」の自己評価を重ね、児童の基本的な生活に対する意識が高まっていくようにする。
7	思いやりや優しさの育成	A	3.1 (3.2)	3.3 (3.3)	3.4 (3.4)	○6年生が下級生に優しく接し、頼りにしている。 ●入学前、公園で心ない言葉をかけられたが、数年経ってまた同じことがあり、残念。優しさや思いやりは学校に行ったから育つというものではないのかもしれない。	○展覧会での異学年交流があり、とてもよかった。引き続きこうした機会を大切にしていって欲しい。	□たてわり班活動は3年目に入り、定着してきた。学校行事にも生かすことで、さらに充実した活動ができるようにしていく。
8	体育授業等の充実	A	3.4 (3.4)	3.5 (3.5)	3.0 (3.0)	○校庭が広いので、マラソン大会ができればと思う。 ○なわとびの生山ヒジキさん、パラリンピアン秦由加子さんなど本物に触れる機会が多いのがとても良い。	○「地域スポーツにチャレンジ」の実施は地域協力者からも好評を得た。	□体育的活動（体力作り）については学校全体で計画的に取り組むことができた。体育の授業においてはいろいろな動きを経験させ、思考力・判断力を高められるような授業内容、展開を工夫する。
9	外遊びへの児童の意識	A		3.5 (3.6)	3.5 (3.2)	○宿題にも運動の取り組みを入れ、意識を高めた。	○広い校庭がある環境を生かして、小学生のうちに外で遊ぶ楽しさを十分に味わわせてほしい。	□児童は遊びを通して集団の中での関わりを学んでいる。引き続き教師からの積極的な働きかけにより、楽しく遊ぶ機会を増やす。

10	健康に関する 児童の意識	A	3.1 (3.2)	3.5 (3.5)	3.5 (3.2)	○今年も全員がよい歯のバッジを もらうことができた。家庭の意識 が高い。	(特になし)	<input type="checkbox"/> 「保健だより」や保健指導を通 して計画的に進めることができ ている。担任の意識も
11	事故・災害へ の児童の危機 意識	A		3.7 (3.5)	3.4 (3.2)	○防災訓練にしっかり取り組み、 災害に対しての意識が高まった。 ●下校時、信号を守らない児童が いる。 ●大きなけがや事故が続くよう なときは、クラスだけではなく学年 集会等を開き、安全指導があると 良い。	(特になし)	<input type="checkbox"/> 「自分の命は自分で守る」と意 識する児童は多くなってきた。不 注意から起きる小さなけがやヒヤ リ・ハットの経験を大事な学びの 機会として浸透させていく。
12	音楽活動の推 進	A	3.6 (3.7)	3.4 (3.4)		○音楽会を2年に一度にしてほし い。 ●音楽に偏ることなく学習活動 をして欲しい。	○音楽会や吹奏楽部の演奏会など、 特色ある教育活動が生きている。	<input type="checkbox"/> 日常的に音楽にふれる環境があ り、児童の心のよりどころとなっ ている。自己肯定感や自信につな がる場面をより多くしていく。
13	望ましい食習 慣	A		3.7 (3.7)	3.1 (3.2)	○季節ごとの行事や郷土料理を取 り入れたメニューがあってよい。	○評価の数値が高いのは家庭の食 生活がしっかりしていることの表 れ。	<input type="checkbox"/> 栄養バランスの取れた安全・安 心な学校給食を継続する。 <input type="checkbox"/> 食事に関する講習会を計画・実 施する。
14	家庭・地域と の連携	B	3.4 (3.5)		2.9 (3.1)	○学校・地域連携事業等では、多 くの地域の方のご協力に感謝して いる。 ○若い先生方が増えているので、 保護者ができることは協力した い。 ●フルタイムで働く保護者がより 参加しやすい PTA 活動になると 良い。 ●地域説明会が開かれているが、 これまで、学校として小中一貫校 についての話がない。	○地域の行事には子供たちに積極 的に参加して欲しい。 ○学校・地域連携事業では卒業生 やその保護者も関わることができ た。	<input type="checkbox"/> 今年度始まった地域連携事業に よって授業内容の充実を図ること ができた。年間のカリキュラムに 位置付けることにより、計画的に 実施することができるよう検討を 重ねる。